

一般質問

# 子どもたちの声を 市政に生かせ



村川四郎 議員

**質問** 小中学生の研究発表

「ふるさと佐渡への提言」や「未来を拓く佐渡の人づくり支援事業」等で地域の豊かな自然や文化を誇りに、斬新な提案がなされている。市には彼らの声を受け入れて実行する姿勢はあるのか。

**教育長**

子どもたちの夢と希望を描ける研究発表の実現に向かって、新年度から小中学生の斬新な提案を行政計画に取り入れて、1年後に成果を検証する約束を市長部局と交わしている。

**佐渡汽船小木航路問題から**

**質問**

航路存続は、署名運

動や集会だけでは担保にはならない。真に小木航路が大事

なら、上越市のような具体的な数値目標が必要で、佐渡市は赤字縮小へ具体的対策を立てるべきではないか。金持ち外国人永住の「佐渡投資移民特区構想」よりも1万人回帰ツアー計画の方が、航路活性化へ実現価値があるのではないかと

**市長**

署名運動や決起集会は成功したが、今がスタートの認識が必要だ。航路がなくならないが、市や県の負担が今後どうなるかは不明だ。赤字額が大きいので、行き詰まればすぐ、最終章ということもあり得るので具体策

を立てる。外国人永住は佐渡

として検討の価値がある特区ということ、知事も認識したが案の段階だ。1万人回帰ツアーは、首都圏連合会で佐渡人OBを対象に里帰りを呼びかける事業で、名簿整理の段階である。

**佐渡牛ブランドの育成が大事**

**質問**

淡路、黒島、隠岐、五島のように離島経済活性化を和牛生産で成功した事例が幾つもある。チャレンジ事業の適用範囲を拡大し「佐渡牛ブランド」復活へ生かすべきではないか。

**市長**

和牛拡大への行動が島内で幾つか起こりつつある。早急に畜産振興の仕組みを作り、佐渡牛ブランド復活の支援をしたい。

**佐渡に馬がいなくなる**

**質問**

各地の伝統行事の存続に重要な馬が本年4月でいなくなる。地域活性化のために重要な問題として市は対策を行うべきだ。

**教育長**

やぶさめ等で馬を使用する神事は年12回。問題を深刻に受け止めているが行政

で馬の保有は困難であり、市内全体で真剣に検討している段階である。

**「佐渡百選」は早急に見直すべき**

**質問**

佐渡百選は、間違いが多くてせっかくの宝物が、逆効果になっている。訂正、見直しは進んでいるか。

**商工観光課長**

百選の見直しは、その都度訂正等を行っているが、今後も更に見直しを進める。



動物フェスティバルにて（真野公園）